

国際戦略ワーキンググループの論点例等

平成31年2月12日

事務局

我が国における2030年代の社会構造の変化・課題

- ・生産年齢人口の急減
- ・外国人労働者の増加
- ・地域の疲弊
- ・地域格差の拡大
- ・少子高齢化の進展
- ・自然災害の増加
- ・インフラ、公共施設の老朽化
- ・社会参画の不平等 等
- ・GDPが低調
- ・内需縮小

世界の課題

- ・世界人口の増大
- ・エネルギー需要増加
- ・地球温暖化
- ・社会参画の不平等 等
- ・先進国における少子高齢化の進展
- ・水、食料の需要増加
- ・自然災害の増加
- ・貧困



目指すべき社会像

デジタル技術の急激な普及・拡大によりデジタル格差が広がる中、「**デジタル化（Society5.0）による持続可能な成長**とその恩恵を誰もが享受できる**包摂的な社会**」を実現していくべきではないか。

主な論点例

1. ICTの社会実装・海外展開

【検討項目（案）】

(1) ICTによるSDGsへの貢献

- Society5.0の実現により、社会・経済がどのような転換をもたらすか
- ICTがSDGsの達成に向けてどのように貢献できるか
- 現状のICTで実現できるものと、新たにICTが必要なものは何か
- 開発レベルが異なる国々に対し、ICTをどのように活用していくのが効果的か
- 多言語社会にデジタルがどのように対応していくか
- デジタル格差が社会・経済にもたらす影響はどのようなものか
- デジタル格差の解消にはICTへのアクセスの確保とICTのリテラシーの養成の両面を見ていく必要ではないか
- デジタル人材の育成・確保や社会における活用をどのように進めていくか 等

(2) ICTの海外展開の在り方

- ICTの海外展開における我が国の強み・弱みや相手国のニーズは何か
- ICTの海外展開に向けて、我が国が重点的・戦略的に取り組むべき地域・分野・体制はどのようなものか
- いつまでに誰が主体となって責任を持ってやっていくのか、官・民・その中間団体の役割の明確化が必要ではないか
- ICTの海外展開がハードからサービスやソリューションに移行する中、どのような支援が必要か
- 現地で相手国の政策形成の過程にどのようにして関与していくべきか
- リープフロッグ型発展に対してどのように対処していくべきか
- イノベーションを生み出すICTベンチャーへの支援をどのように行っていくべきか
- AI、IoT、ビッグデータ、5G等の技術を社会実装し、海外展開する上での課題は何か 等

2. ICTを巡る政策枠組み・ルール形成

【検討項目（案）】

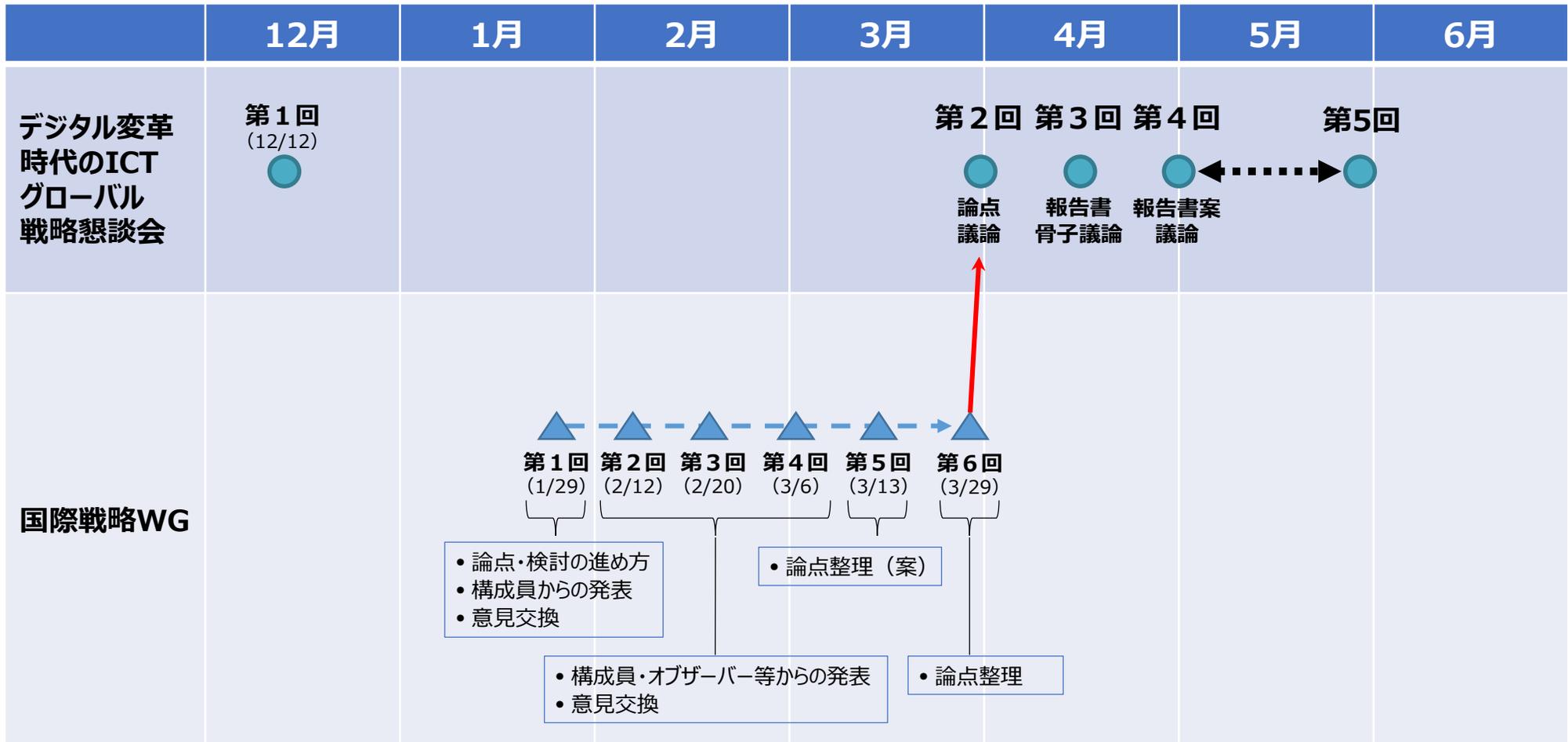
- 国際的なICT政策の調和における優先課題は何か（プライバシー保護やサイバーセキュリティ等の信頼性が確保された情報の自由な流通、AIの開発・利活用原則、ネットワーク・サービスへのアクセス・利用の向上等）
- デジタル経済における信頼性を確保するために必要な政策やルールはどのようなものか
- 我が国の強みを活かし、かつ、日本企業による市場獲得につながるルールとはどのようなものか
- 「質の高いインフラ」の国際スタンダード化（開放性、透明性、経済性、財政の持続可能性等）の推進方策
- デジタル化によるジェンダー格差の解消方策 等

3. G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合等における日本の戦略推進の在り方

【検討項目（案）】

- 我が国による情報発信の強化方策
- 政府・企業・国際機関の役割、必要な支援、連携の在り方 等

※ 赤字は第1回WG開催後に追加した論点例



参考：G20サミット（大阪）は6月28日、29日に開催予定。

G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合は6月8日、9日に開催予定。